

# 「モチモチの木」新聞をつくろう

医者様を呼びに走る豆太の気持ちを想像して  
はがき新聞にまとめよう。



## 指導のねらい

- 医者様を呼びに走る豆太の気持ちを叙述から読み取り書くことができる。
- 灯がもっているモチモチの木を見た時の豆太の気持ちを書くことができる。



## 評価の例

- 豆太の心情の変化が叙述をもとに書いてある。……A
- じさまを助けたい気持ちが書いてある。……B
- あらすじしか書いていない。……C



## 時間配分 (目安)

- ① 導入 (課題の説明とつくり方の説明)  
…………… 10分  
横見出しには、記事の内容から考えるよう伝えるといいと思います。
- ② はがき新聞の制作 …………… 30分  
記事の量は、3段目のカットの大き  
さで調節するといいと思います。
- ③ 振り返り・交流 …………… 5分  
友達のどんな言葉が心に残ったのか  
を話し合わせるとよいでしょう。

### 学びを広げるポイント

- 話し合いの時間がないときは、できあがった  
はがき新聞を、ミテミテ (理想教育財団助成  
品) を使って掲示し子どもたち同士の交流を  
促すとよいでしょう。



# 「モチモチの木」新聞をつくろう

医者様を呼びに走る豆太の気持ちを想像して  
はがき新聞にまとめよう。



## はがき新聞の作り方



- 右側の新聞をお手本にして、新聞の名前から書いてみよう。新聞の名前は2～3文字だと書きやすいです。
- 最初に鉛筆で題字を書いてから、周りを太くしてレタリングしてみよう。
- レタリングができたら周りを水性ペンでなぞり、鉛筆の線を消しゴムで消してから題字と後ろの色をぬろう。
- 豆太はどんな気持ちに変わったのかを考えて記事を書いてみよう。書き出しは「マスあけること。(書き出しの例：豆太は～という気持ちで～だと思えます。)
- 灯がともっているモチモチの木を見た時の気持ちを書くときは、段落にするとよいでしょう。
- 書き終わったら、記事を読みなおそう。
- 記事に合うイラストを描こう。発行者の下のイラストは、モチモチの木や豆太を書いてみよう。記事が長くなったら、イラストの大きさを調節しよう。
- イラストに色をぬろう。鉛筆で書いてから、水性鉛筆でこくていねいにぬるときれいに仕上がります。

- 横見出しは、記事から光る言葉を選んで書くといいと思います。色の塗り方は題字と同じです。



### 準備するもの

鉛筆、消しゴム、色鉛筆、定規、水性ペン(記事や見出しイラストをなぞるときに使うときれいに仕上がります。)

